**事業報告書**

**令和5年4月～令和6年3月**

****

**社会福祉法人　幸雪会**

**目　次**

**Ⅰ.　理念**

1.　基本理念

　2.　事業理念

　3.　沿革

　4.　事業サービス概要

**Ⅱ.　令和5年度事業活動報告**

1.　社会福祉法人幸雪会　法人事業報告

　2.　法人本部より報告

　　　・感染症対策の強化

　　　・人材育成の推進

　　　・経費削減

　　　・新規事業

　　　・BCP策定

　　　・年間行事企画

　3.　特別養護老人ホーム遊陶里事業報告

　　　・運営状況・利用状況

　4.　看多機遊陶里事業報告

　　　・運営状況・利用状況

　5.　ショートステイ遊陶里

　　　・運営状況・利用状況

　6.　デイサービス咲陶里

　　　・運営状況・利用状況

　7.　看多機陶里夢

　　　・運営状況・利用状況

　8.　訪問看護ステーション遊陶里

　　　・運営状況・利用状況

　9.　その他事業所報告

　　　Ⅰ.住宅型有料老人ホーム小陶里

　　　Ⅱ.住宅型有料老人ホーム咲陶里

**Ⅲ.　総括**

**Ⅰ.　理 念**

**1.基本理念**

**『和敬清寂』**

**2.事業理念**

自宅のくつろぎに医療の機能を。

地域をささえる総合福祉サービスとともに、住み慣れた場所、なじみの顔で自分らしい生活と自分らしい人生を。

**3.沿革**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 | 月日 | 歩み |
| 平成25年 | 6月19日 | 社会福祉法人幸雪会　設立 |
| 平成26年 | 7月1日 | 特別養護老人ホーム遊陶里　開設 |
| 平成27年 | 4月1日 | 住宅型有料老人ホーム小陶里　開設 |
| 平成30年 | 4月1日 | 住宅型有料老人ホーム咲陶里　開設 |

**4.事業サービス概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 【地域密着型サービス】 | 【事業所】 |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護  看護小規模多機能型居宅介護  地域密着型通所介護  看護小規模多機能型居宅介護 | 特別養護老人ホーム遊陶里  看多機遊陶里  癒処陶里夢  看多機陶里夢 |
| 【指定居宅サービス】 | 【事業所】 |
| 短期入所生活介護  訪問看護  居宅介護支援  通所介護  訪問介護 | ショートステイ遊陶里  訪問看護ステーション遊陶里  ケアプランセンター遊陶里  デイサービス咲陶里  ヘルパーステーション遊陶里 |
| 【その他】 | 【事業所】 |
| 住宅型有料老人ホーム | 住宅型有料老人ホーム小陶里  住宅型有料老人ホーム咲陶里 |

**Ⅱ.　令和5年度事業活動報告**

**1.社会福祉法人幸雪会　法人事業報告**

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」の分類へと移行されました。ワクチン接種の奨励や治療薬の開発等もあり、感染リスク・重症化リスクが前年度までと比較して軽減されたように感じられた一年となりました。しかしながら感染によるクラスター発生の中、職員の離脱や入所者様及入居者様の退所・退居には少なからず影響を及ぼしましたことも否めませんでした。

　法人全体として令和5年度を振り返りますと前年比95.9％の実績に終わる結果となってしまいました。上半期の前半3ヶ月は前年比108.4％と堅調なスタートとなりましたが、令和5年7月以降は様々な課題と直面し、事業縮小の決断を迫られて、最終的には厳しい結果となってしまった一年でした。

　課題に対して業務の効率化やサービスの質の向上及び事故防止等の観点から、既存事業所の廃止・新規事業所の開設を断行しました。令和5年9月に癒処陶里夢、12月にケアプランセンター遊陶里・ヘルパーステーション遊陶里の3事業所廃止し、令和5年10月より看多機遊陶里のサテライト事業所として看多機陶里夢を開設しました。令和5年度は業績として大きな成果を上げることはできませんでしたが、来年度以降には業績に寄与できるものと期待しています。

　また職員の人材確保についても令和5年度は例年と比較し正職員の退職者が散見されました。特に豊富なスキルを持つベテラン職員の離職は法人にとっても大変な痛手であり、人材育成の方針の見直しや推進について再検証していくことが必要です。

　最後に令和5年度は新型コロナウイルス感染症の脅威から少しずつ解放され、徐々にコロナ前の日常を取り戻しつつあります。5年4月以降は家族様との面会も段階的に緩和して入所者様・入居者様と接する機会を設けることができました。またイベントやレクリエーションについても外部団体の招聘によるイベントの実施や施設内で実施する季節ごとのレクリエーションの開催を例年に近い形で行うことができました。

**2.法人本部より報告**

**【感染症対策の強化】**

令和5年度5月に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」の分類へと移行されました。しかしながら、感染力や重症化率が減弱されたわけではなく、局地的にはクラスターの発現も見受けられました。当該法人においても、令和5年5月・8月に小規模ながらクラスターが発生し、9月には職員4名が罹患しました。前期より感染症対策の強化を最重点目標に掲げ取り組み、予防対策として清掃・消毒の徹底、換気の励行、定時によるバイタルの測定等を実施しました。また、有事に備え定期的な職員の人事異動や消耗品の在庫の精査、BCPの策定等を推進してきました。これらのことを有事の際に実行できるように、全体会議等の場において啓蒙し、協力医療機関の指示を仰ぎ対応できるようにシミュレートに努めました。

　また、感染対策委員会を中心して本部・看護部・介護部・栄養部の連携強化を図り「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」ことを目標した体制づくりに取り組みました。

　基本的な対策は引き続き講じて、行政機関の指針や指導のもと対策していくように今後も尽力していきます。

**【人材育成の推進】**

人材育成の推進については、職員の知識・技術の習得及び向上に向けて毎月2回開催する全体会議にて内部研修を実施しました。資格取得にあたっての外部研修（Zoom）等への支援も強化し資格取得率向上の推進に努め、今年度は実務者研修受講者2名、ユニットリーダー研修受講者5名を支援する結果となりました。

また人材の創出では、人材紹介会社が企画するイベントへ積極的に参加して雇用の機会を設け求人広告媒体を含めて14名の採用に繋げることができました。前期まで消極的であった人材紹介会社からの紹介案件による雇用も試みました。人材紹介会社からの雇用として介護支援専門員1名、管理栄養士2名の計3名を採用しました。

学卒求人については、職場見学を2名対応しましたが、結果として残念ながら採用には至らず課題として残りました。令和6年度以降には、特定技能外国人（ミャンマー）2名の受入も視野に入れ準備を進めており、順調に進行すれば令和6年夏頃には入職に繋がる予定です。

令和5年度は、正職員の離職が例年と比較して多く見られました。特に介護現場においての正職員の離職は法人の弱体化にも繋がる可能性が高いため、面談時の内容の精査やストレスチェックの強化等を検討し対策しなければなりません。

**【経費節減】**

　前年度から引き続き、国際的な原材料価格の上昇による物価高騰が継続されています。要因として急激な円安の進行やロシアのウクライナ情勢等が挙げられます。令和5年は物価上昇指数が前年と比較して3.1％上昇し、41年ぶりの水準となりました。

　当法人においても、水道光熱費・消耗品・食費等の価格上昇のあおりを受け、経費を圧迫する厳しい一年となりました。特に大きな影響を受けた水道光熱費については、特別養護老人ホーム遊陶里施設内の照明器具をLEDに変更して節電に努めました。また水道代は水圧調整の器機を導入しました。いずれについても現在のところ大きな成果は挙がっていませんが、長期的な視点で検証し精査していきます。

　また消耗品や食費は、コストだけでの判断が難しい側面があり現場職員の意見や入所者様・入居者様のニーズ等と製品の利便性や特性を勘案して総合的に導入・変更の判断を下しました。

また職員のコスト意識の向上を啓蒙し徹底的にムダを排除することに取組んだことにより僅かながらではあるが法人全体の意識改革に繋がったと感じられました。

令和6年度は各施設でのインフラ整備や介護ロボットの導入も検討しており、また建物の経年劣化による補修工事や機器類の入れ替えによる経費増が予測されるため、経費節減については引き続き取り組み強化していきます。

**【新規事業】**

令和4年6月に開設した癒処陶里夢（地域密着型通所介護）の安定した経営と健全な運営を課題として掲げましたが、残念ながら人員確保が困難となり令和5年9月にて廃止することとなりました。また同様の理由によりケアプランセンター遊陶里（居宅介護支援事業所）、ヘルパーステーション遊陶里（訪問介護）を令和5年12月にて廃止しました。サービス利用中の利用者様には多大なご迷惑をお掛けしましたが、近隣の事業所様の協力を得て円滑に引き継ぐことができました。

　令和5年10月から期首の計画立案時に構想にはありませんでしたが、看多機遊陶里のサテライト事業所として看多機陶里夢（看護小規模多機能型居宅）を開設しました。現在のところ大きな成果は上がっていませんが、地域から安心と信頼を得られるような事業所を目標としてマネジメントしていきます。

**【BCP策定】**

　令和3年の介護報酬改定おいて、令和6年3月末までにBCP策定が義務化されました。当法人も各事業所に感染症発生時・自然災害発生時を想定してBCP策定を行いました。

　近年、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの発生や自然災害による設備の損壊等で事業の継続が困難となった事業所が数多くありました。そのような状況を鑑みて、有事の際には、迅速かつ適切に対応し事業を再開できるように検討を重ねました。また来年度以降は、BCPに基づいたシミュレート・訓練の実施を計画しています。

　運用にあたり今後は設備の改修・拡張や人事異動等があれば、つど精査を行い実用性の高いマニュアルとして施用していきたいと考えています。

**【年間行事企画】**

|  |  |
| --- | --- |
| **年　月** | **行　事** |
| 令和5年4月 | お花見（桜）、おやつレク（中庭） |
| 令和5年5月 | 端午の節句、母の日、健康診断、消防訓練 |
| 令和5年6月 | 父の日、演奏会 |
| 令和5年7月 | 七夕、事業所自己点検 |
| 令和5年8月 | 夏祭り、おやつレク（中庭） |
| 令和5年9月 | 敬老会、演奏会 |
| 令和5年10月 | 秋祭り、ハロウィン祭 |
| 令和5年11月 | 健康診断、消防訓練 |
| 令和5年12月 | クリスマス会 |
| 令和5年1月 | 初詣（エントランス）、獅子舞 |
| 令和5年2月 | 節分、事業所自己点検 |
| 令和5年3月 | 雛祭り、お花見（梅） |

**3.特別養護老人ホーム遊陶里事業報告**

**【運営状況】**

当事業所も開設10年目となり、前年度と同様に多くの入退所が散見される一年となりました。入院される入居者様も増加し稼働率は、前年度の96.1％を下回る93.5％にとどまり、実績としては稼働率の低下に伴い前年度を若干下回る結果となりました。利用者様の退所に伴う空床を縮小するため、引き続き各部門・各事業所及び地域のケアマネージャーや地域包括支援センター等と連携を図り、早期の新規入居者様の受け入れに努め、地域に貢献できる施設づくりを目指していきます。

**【入居者状況】**

〈定員29名〉令和5年4月～令和6年3月

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 期首在所 | 期中入所 | 期中退所 | 期末在所 | 延稼働日数 | 延在所日数 | 稼働率 |
| 29 | 13 | 15 | 27 | 10,614 | 9,898 | 93.5％ |

〈要介護別構成表〉令和6年3月末現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 要介護度 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| 要介護3 | 1 | 3 | 4 | 14.8％ |
| 要介護4 | 5 | 13 | 18 | 66.7％ |
| 要介護5 | 2 | 3 | 5 | 18.5％ |
| 合計 | 8 | 19 | 27 | 100.0％ |
| 要介護平均値 | 4.1 | 4.0 | 4.0 |  |

〈年齢・男女別構成表〉令和6年3月末現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| ～74歳 | 0 | 0 | 0 | 0.0％ |
| 75歳～79歳 | 2 | 1 | 3 | 11.1％ |
| 80歳～84歳 | 2 | 4 | 6 | 22.2％ |
| 85歳～89歳 | 3 | 4 | 7 | 25.9％ |
| 90歳～95歳 | 1 | 3 | 4 | 14.8％ |
| 95歳～99歳 | 0 | 5 | 5 | 18.5％ |
| 100歳～ | 0 | 2 | 2 | 7.4％ |
| 合計 | 8 | 19 | 27 |  |
| 男女構成比 | 29.6％ | 70.4％ |  |  |
| 最低 | 77歳 | 77歳 |  |  |
| 最高 | 91歳 | 100歳 |  |  |
| 平均 | 83.6歳 | 90.2歳 | 88.3歳 |  |

**4.看多機遊陶里事業報告**

**【運営状況】**

　今年度は、前年度に増してサービスの終了に至った利用者様が散見されました。事例を検証しますと、ADLの低下による病院・施設への転出、家庭の事情による転居、当法人内でのサービスの変更、残念ながら逝去された方等、様々な理由でサービス終了となり、実績としては前年度を大きく下回る86.1％の結果となってしまいました。またサービス利用者様についても定員29名に対し令和6年3月末現在において22名の登録で終わりました。

サービス利用回数は訪問看護が微増、訪問介護は横ばいでしたが、通所及び宿泊のサービス利用回数が激減しました。来年度はサービスの質を見直し、早期の定員の確保を最優先し実績の回復に努めていきます。

**【利用者状況】**

〈定員29名〉令和5年4月～令和6年3月

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 訪問看護 | 通所 | 訪問介護 | 宿泊 |
| 1,005 | 3,725 | 3,909 | 1,596 |

〈要介護別構成表〉令和6年3月末現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 要介護度 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| 要介護1 | 0 | 1 | 1 | 4.5％ |
| 要介護2 | 3 | 3 | 6 | 27.3％ |
| 要介護3 | 3 | 3 | 6 | 27.3％ |
| 要介護4 | 5 | 1 | 6 | 27.3％ |
| 要介護5 | 1 | 2 | 3 | 13.6％ |
| 合計 | 12 | 10 | 22 |  |
| 要介護平均値 | 3.3 | 3.0 | 3.2 |  |

〈年齢・男女別構成表〉令和6年3月末日現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| ～74歳 | 0 | 1 | 1 | 4.5％ |
| 75歳～79歳 | 3 | 2 | 5 | 22.7％ |
| 80歳～84歳 | 4 | 3 | 7 | 31.8％ |
| 85歳～89歳 | 4 | 3 | 7 | 31.8％ |
| 90歳～ | 1 | 1 | 2 | 9.1％ |
| 合計 | 12 | 10 | 22 |  |
| 男女構成比 | 54.5％ | 45.5％ |  |  |
| 最低 | 76歳 | 66歳 |  |  |
| 最高 | 90歳 | 98歳 |  |  |
| 平均 | 83.5歳 | 83.5歳 | 83.5歳 |  |

**5.ショートステイ遊陶里事業報告**

**【運営状況】**

　今年度の課題となっていた稼働率についてですが、前半3ヶ月平均65.6%に止まり厳しいスタートなってしまいました。令和5年7月以降は比較的安定した稼働率で推移しましたが、年度しては前年度を4.5ポイント下回る78.8％の結果となりました。要因としましては、長期利用者様のサービス変更で当法人の特別養護老人ホームへの入所や有料老人ホームへの入居による減少が考えられます。また新規利用者様の獲得は一定数得られましたが、短期利用に偏向しており稼働率に寄与できなかったことが挙げられます。

　来年度も居宅支援事業所と連携し利用者様の安心と安全を確保し、またサービスの質の向上に努め信頼のいただける事業所を目指していきます。

**【利用状況】**

〈定員10名〉令和5年4月～令和6年3月

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 稼働日数 | 延稼働日数 | 延利用日数 | 稼働率 |
| 366 | 3,660 | 2,885 | 78.8％ |

**6.デイサービス咲陶里事業報告**

**【運営状況】**

　今年度は諸事情により、令和5年10月から定員25名を20名に変更しました。人員や新事業所の開設等を考慮しての判断に至りました。また定員数を縮小することを機に、事業所内のレイアウトの刷新やサービス提供の見直し・レクリエーションの内容の精査等を吟味して利用者様にはより充実した時間を過ごしていただけるように努めました。

稼働率は新型コロナウイルス感染症の影響をほとんど受けることはありませんでしたが、一年を通じて75.6％で終わり前年度を2.7ポイント下回る残念な結果となりました。来年度は稼働率の回復を課題とし、利用者様の満足度の高いサービスを提供していきたいと考えています。

**【利用者況】**

〈定員25名⇒20名〉令和5年4月から令和5年3月

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 稼働日数 | 延利用者数 | 延利用者実人数 | 稼働率 |
| 361 | 8,135 | 6,152 | 75.6％ |

**7.看多機陶里夢事業報告**

**【運営状況】**

　期首の計画立案時には想定していませんでしたが、令和5年10月より看多機遊陶里のサテライト事業所として新規開設することとなりました。当事業所は定員18名で、開設当初は当法人の他事業所よりサービスの変更された利用者様が多くを占め、事業開設時からまずまずの定員登録と実績を挙げることができました。しかしながら、令和6年3月末現在、定員18名に対して16名の登録となっており最終的には大きな実績の貢献には至りませんでした。来年度は早期に新規登録者を急ぎ、成果を寄与できるように努めます。

　また地域において、看護小規模多機能型居宅介護の特性を生かし、利用者様のニーズに則した質の高いサービスの提供を目標として尽力した参ります。

**【利用状況】**

〈定員18名〉令和5年10月から令和6年3月

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 訪問看護 | 通所 | 訪問介護 | 宿泊 |
| 438 | 893 | 1,517 | 0 |

〈要介護別構成表〉令和6年3月末現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 要介護度 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| 要介護1 | 0 | 2 | 2 | 12.5％ |
| 要介護2 | 1 | 4 | 5 | 31.3％ |
| 要介護3 | 1 | 7 | 8 | 50.0％ |
| 要介護4 | 0 | 1 | 1 | 6.3％ |
| 要介護5 | 0 | 0 | 0 | 0.0％ |
| 合計 | 2 | 14 | 16 |  |
| 要介護平均値 | 2.5 | 2.5 | 2.5 |  |

〈年齢・男女別構成表〉令和6年3月末日現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| ～74歳 | 0 | 0 | 0 | 0.0％ |
| 75歳～79歳 | 0 | 0 | 0 | 0.0％ |
| 80歳～84歳 | 1 | 3 | 4 | 25.0％ |
| 85歳～89歳 | 1 | 8 | 9 | 56.3％ |
| 90歳～ | 0 | 3 | 3 | 18.8％ |
| 合計 | 2 | 14 | 16 |  |
| 男女構成比 | 12.5％ | 87.5％ |  |  |
| 最低 | 81歳 | 80歳 |  |  |
| 最高 | 88歳 | 98歳 |  |  |
| 平均 | 84.5歳 | 87.3歳 | 86.9歳 |  |

**8.訪問看護ステーション遊陶里**

**【運営状況】**

今年度の実績は、前年比78.8％の結果に終わりました。既存の利用者様のサービス終了や新規事業所の看多機陶里夢へのサービス変更が大きく影響しました。新規の利用者様については、横ばいで推移し実績に寄与することができませんでした。

　また看護職員の定着も安定せず、前年度と同様の課題を残す結果となってしまいました。

**9.その他事業所報告**

**Ⅲ.　住宅型有料老人ホーム小陶里**

　今年度は、非常に入退所の多い一年となりました。特に後半の3ヶ月は空床が散見されたため、関連性の高い看多機遊陶里の実績に影響を及ぼしました。令和6年3月末現在では、4室の空室があり各部門・各事業所及び外部関連機関との連携を図り、早急に対応できるよう尽力していきます。

**Ⅳ.　住宅型有料老人ホーム咲陶里**

今年度は安定して高い水準の入居率を維持することができませんでした。要因としては、当法人内の他の事業所や施設に転出される入居者が多く、また体調不良・骨折等による入院も散見され、退所に繋がってしまう事案もありました。令和6年3月末日現在においても2室が空室の状態になっており、外部関連機関と連携して早期の改善を図ってまいります。

**Ⅲ.　総括**

　令和5年度は法人全体としては、前年比95.9％で終わりました。上半期の前半3ヶ月は前年比108.4％と好調なスタートとなりましたが、令和5年7月以降は様々な要因が重なり前年比92.1％と厳しい結果になりました。事業所別には特別養護老人ホーム遊陶里97.4％、看多機遊陶里86.1％、ショートステイ遊陶里95.7％、デイサービス咲陶里79.9％、訪問看護ステーション遊陶里78.8％と各事業所において前年比割れとなりました。

　要因として考えられることは、職員の確保が難しくヘルパーステーション遊陶里とケアプランセンター遊陶里及び前年度開設した癒処陶里夢の3事業所を廃止せざるを得ない状況になったことが挙げられます。今年度はベテラン正職員の離職が多く散見され、法人としても人材紹介会社主催のイベントへの参加や紹介案件による雇用促進等で対応いたしました。また来年度には、特定技能外国人の雇用も検討しており、様々な方法を模索して人材創出に注力してまいります。人材育成は定期的な面談や評価基準の見直し、メンタルケアの強化を実施してより、満足度の高いシステムを構築していきます。また事業の効率化についても、在籍する職員の能力や雇用形態・資格等を勘案して体制を整備し人材不足の解消に努めてまいります。

　次の要因としては、入所者様・入居者様の退去や入院・利用者様のサービス中止が挙げられます。毎年度一定数の想定はしていますが、今年度は特に多く見られたため空床・空室の期間があった事業所の実績に影響を及ぼしました。当法人内の各部門・各事業所と連携を図りサービス変更を主とする調整や外部関連機関の協力による新規案件の受入で対応しましたが、実績としては厳しい結果に終わりました。

　新規事業につきましては、期首の計画立案時には想定していませんでしたが、事業の効率化や人材不足の問題を鑑みて、上記の通り3事業所を廃止して新たに看多機遊陶里のサテライト事業所として看多機陶里夢の開設に至りました。令和6年3月末現在、実績として大きく寄与はできていませんが、来年度以降は安定した業績を期待できると勘案しています。

　最後に今年度に課題としていた事案を検証して、達成できなかったことは引き続き課題として対策を講じ、また新たな課題に対しては、法人一丸となって検討して安全と安心・信頼を得られる『施設づくり』を目標とし地域社会に貢献できるように努めてまいります。